

つるせ西だより



～今月の特集～
ふるさと春の訪れ

第161号(4月号)2021. 4. 1

編集: 鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行: 富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 31

コロナ禍での花見

市を代表する公園の一つ、山崎公園(約1・2ヘクタール)は平成6年に開設され、市民の憩いの場として親しまれている。4月に入ると、江川沿いの河津桜は若葉に変わり、隣接する山崎公園の花壇には可憐な草花が一斉に咲き競い、ソメイヨシノや紅枝垂れ桜が満開を迎える。

さて、コロナ下で外出自粛のなか花見の人出はどんなだろうか。「せせらぎ菖蒲園」の木道や遊歩道をソーシャルディスタンスで巡り歩く老若男女。東屋で一休みの老夫婦があれば、芝生で寛ぐ家族連れなど三三五五見受けられよう。中には、コロナ禍で自宅に籠りがちな生活を少しでも癒そうとウォーキングに励む人たちもあって、誰もがマスクに顔を埋めてのいで立ち。

当然、集団での飲食は禁止となり、例年とは違った花見光景となるのではないか。「人々は大自然の恵みに感動し、心の糧として生きてきた」と思われる。

先が見通せない不安な日々、一日も早い新型コロナの終息を願わずにはいられない。

(撮影・文/川上編集委員)



公園内の「珍しい桜やモミジの植物園」で枝垂れ桜を鑑賞できます。



紅枝垂れ桜 →

まちかどウォッチング

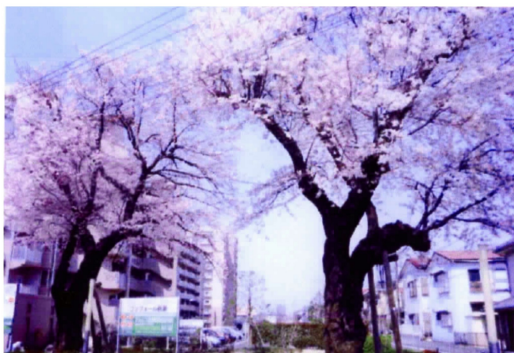
「桜」のはなし

鶴瀬西小学校の跡地に立派な桜の古木があります。この木の貫禄から見ると長い歴史の出来事をすべて見てきていることでしょうか。この権平山へ市立中学校を建設するため私たちが生徒全員で材木を運び込みました。できあがった校舎にはつつかえ棒のような斜めの支えがあり新築校舎なのになんでこんなものがあるんだと議会で話題になったと聞いたことがあります。それまでは鶴瀬小学校の一部を間借りしていましたが、自分たちの校舎ができたわけですから生徒間でも校舎への愛着心が湧いてきました。

妹の話によると昭和27年ごろ生徒たちでお金を出し合って、榛名神社の植木市で6〜7本ほど桜の苗木を購入し校庭に植えたのだそうです。それから毎年きれいな花を見せられました。

昭和35年その校舎が火災で焼失し、その地に富士見台中学校が開校しました(のちに鶴瀬西小学校になる)。

そのころ近隣に東武住宅や鶴瀬団地が完成しました。たくさんの変遷を見てきたこの桜の木はコンフォール地内に今なおその威容を見せています。



(萩原)